

2020年日本平和大会実行委員会ニュースno.2



2020年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2020/8/7

Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email info@j-peace.org

～第5回実行委員会開催～ 大会成功へ「呼びかけ」を発表



日本平和大会実行委員会は7日、第5回実行委員会をオンラインで開催し、2020年日本平和大会「成功に向けたとりくみの呼びかけ」を確認、発表しました。平和大会の意義と趣旨、成功に向けた行動提起【①学習パンフでの学習②基地強化反対、日米地位協定の抜本改定、敵基地攻撃態勢づくりの大軍拡反対、「軍事費削って暮らし・コロナ対策へ」の運動を広げること③日米安保条約の学習・議論】が主な内容です。本文は別紙の通りです。構成員の皆さんにお広げください。

基本テーマ 3本柱で決定

第5回実行委員会は、基本テーマ、成功の呼びかけ、企画の組み立てと構想等について討議しました。今大会は、コロナ禍のもとで大国の覇権主義や核軍拡競争に厳しい批判が注がれ、新自由主義的政策のもろさが露呈する中で開かれます。「コロナ危機を通し、命を守るのは軍艦や大砲でないことがはっきりした。国内においては、在日米軍でのコロナ拡大と政府の対応を通し、『占領状態とは何か』を示した。軍事に代わる安全保障のあり方が根本から問われ、また人々の関心を集めている」一などと意見交換、大会を通じて議論することを確認し、基本テーマに反映させました。

2020年日本平和大会 基本テーマ

- ・コロナ危機に考えよう いのち・暮らし第一の社会
- ・ストップ！改憲・大軍拡 軍事費削ってコロナ対策へ
- ・ストップ！米軍基地強化 日米地位協定の抜本改定を

企画内容 次回までに

海外ゲストには、事務局団体が提案した大統領選直後のアメリカ、軍事費をコロナ対策に回した韓国、ASEANからフィリピンに加え、ASEAN議長国のベトナム、地位協定改定を実現させたイタリア、沖縄と同様に米軍基地強化が進められるグアムなど希望が寄せられました。

運動交流の中身には、首都圏や南西諸島等の基地強化への反対運動、各地の防大人権侵害裁判、医療や教育現場から一等を事務局団体から提起。「展望のある経験を聞きたい」など要望の他、「フードバンクに取り組むと青年が列をなして求めてくる。その場で基地強化や改憲はおかしいと対話になり、若者も社会のあり方を問い直していることを実感する。安全保障論は青年に響く問題提起だ」「オンラインだからこそ参加しうる幅広い層に届くような企画づくり、押し出しを」など意見が出されました。検討・調整し、次回実行委員会で日程と企画を固める予定です。

大会は全体会と特別集会で構成しますが、各団体による自主企画も大いに取り組もうと確認。次回実行委員会までに各組織で検討し、持ち寄ることとしました。

パンフ注文続々と！

新たなご注文は、和歌山県100部、全商連100部です。前号でご紹介した宮崎県は300部の誤りでした。日本平和委員会が入る平和会館内の4社・団体から6部お買い上げいただきました。

📢 ご注文から発送まで少なくとも中1日かかります。ゆとりを持ってご注文ください。

※次回中央実行委員会は8月27日（木）14時～です。